

◆総務委員会

◆苦小牧市イルミネーション事業について

富岡 隆 委員長

苦小牧市の顔である駅前を明るく元気にすることと合わせ、まちなかの「にぎわい」を創ることを目的にイルミネーション事業を実施することが報告されました。実施時期は、平成30年12月21日(金)から平成31年2月14日(休)迄で、点灯時間は午後4時から11時までの7時間となっています。

質疑では、3商店街との協議については意見交換をしながら、まちなかへの「にぎわい」や集客を促進していくために連携を強めていくこと。イルミネーションのイベントを通してスケート祭りや商店街市民団体と協力し一緒に進めていきたい。駅前における放置自転車の対策や警備の体制についてもしっかりと対応していくことが説明されました。



◆厚生委員会

◆高丘霊園の今後のあり方について

松尾 省勝 委員長

所管事項は、空家等対策計画(案)や苦小牧市立病院新改革プラン評価報告書、苦小牧市霊園事業特別会計の閉鎖についてなど10件の審議がありました。

高丘・第2霊園は墓所の整備を順次行っており、平成29年には共同墓も設置するなど市としての努力が続けられている。

お墓の継承者がいないなどの理由による「墓じまい」などお墓に対する考え方の変化から、市側は市民ニーズを把握し墓所の整備を行う必要があるが、造成や整備を行う予定はないとし、霊園事業会計の閉鎖を検討するとの考えを示しました。



高丘霊園の様子

委員からは、事業閉鎖後の体制や維持管理にかかわる基金の動向、無縁墓とならない仕組みづくりなどの質疑がありました。

◆文教経済委員会

◆特別支援学級の通学区域について

宇多 春美 委員長

2件の付議事件は表決の結果、可否同数であり、委員長採決により不採択と決定し、本会議においても不採択となりました。

特別支援学級の通学区域の変更について、現在、肢体不自由の子ども達は苦小牧東中学校



苦小牧東中学校 障がい対応トイレ

校の拠点校方式で教育を受けていますが、31年度からは拠点校方式から、居住地域の中学校区の特別支援学級を基本としつつ、拠点校の体制整備による教育を必要とする場合、拠点校を選択できる併用方式となります。選択にあたっては、保護者に対し丁寧な説明をし、学校の様子を見てもらい決めていただきます。また教育現場で対応できることを保護者との話し合いを重ね、合理的配慮のもと良い教育環境を提供するものとなります。

◆建設委員会

◆街路樹の大木化や老朽化など樹木管理の説明を受け議論！

越川 慶一 委員長

植栽後30年以上経過した街路樹や公園樹木が大木化、老朽化してきたため、26年度から30年度にかけてモデル地区での間引きや剪定を行い、適正な維持管理を目的に公共施設樹木適正化事業(素案)を策定。モデル地区でアンケー

トを実施し、植樹で困っていることに街路灯の光を遮り暗くなることや落ち葉の掃除に困るなどの意見がありました。

また、苦小牧



市における住環境の特性、市民の意向などに基づき、今後の住生活のさらなる安定確保及び向上を目的に、31年度から10年間を計画期間とする苦小牧市住生活基本計画(素案)が策定され、その内容について議論しました。